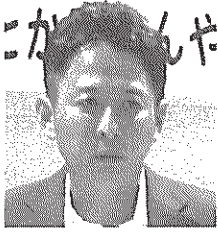


子育て支援ほけつと開催

職親プロジェクトで

草刈健太郎氏が語る



草刈健太郎氏

子育て支援ほけつと主催による「おまへの親になつたので、職親プロジェクト」が、9月14日午後7時から大阪府

松原市のまつばらテラス大会議室で開催された。講師としてカンサイ建築工業の草刈健太郎社長(写真)が登場し、体験談を中心に発表を行った。「職親プロジェクト」は、日本財団が行っている慈善事業で、官民連携で少年院、刑務所出所者が再び罪を犯さないよ

う、自立更生を推進する活動である。出所者の再犯率低下の実現を目指すため飲食店や建設会社などが日本財団と協定を結んで協力する再犯防止プロジェクトとなっている。草刈社長は、東日本大震災の支援として「思いやりプロジェクト」を設

立し、就労者支援や大阪の大手飲食店で東北の特産物を生かしたメニューを取り入れるなど支援を行い、被災者との交流を深めるなどボランティア活動を積極的に行っている。知人から「職親プロジェクト」の話を聞きプロジェクトに参加。現在、社会復帰促進就労支援シンポジウムなどの活動に精力的に参加している。

・2013年から慈善事業として若者の雇用を始めたが、一筋縄ではいかず苦勞の連続であったという。15人を雇ったが8人が辞めていったことや、何度もつそをつかれ裏切られたがあきらめず、相手に寄り添い何人もの若者を更生させたことなど、大変だがやりがいのある仕事だと語った。

講演終了後、松原市でボランティア活動をやっている人達とのトークセッションが行われた。草刈社長は「青少年の非行や犯罪を防止するのに大人が無関心ではいけない。子供を放っておかず、地域で愛情を持って見守ることが必要」と提言した。